



渡辺聡一郎 議員  
(創政会)

**問** 白岡中学校周辺の  
グランドデザインは

白岡中学校周辺の土地利用は、単に商業施設を誘致するだけではなく、特色ある魅力的なグランドデザインを描いていく必要がある。白岡駅西口周辺のグランドデザインも同時に描き一体的整備も検討していくべきだ。市は具体的な構想図をどのように作成していくか。

**答** アンケート結果を活用し  
将来像を整える

駅前に求められる機能と、白岡中学校周辺の新市街地に求められる商業施設などの機能が最大限に発揮できるまちづくりを進めることが重要である。道路などの整備計画のみならず既存商店会との融和施策などのソフト面も含め相乗効果が生まれるよう検討を進める。

**問** カフェなどで  
魅力ある公園づくりを

都市公園法が改正され、都市公園の活性化や魅力向上が期待されている。民間主導により公園にカフェやレストランを設置し、その収益を公園管理に充てる自治体も増えている。国の制度改正を受けて、市は今後の都市公園の活性化についてどのような考えがあるか。

**答** 先進事例などを  
調査・研究していく

新制度による民間活力の導入は、公園管理者の財政負担を軽減し公園の質や利用者の利便の向上が期待できるため、公園の活性化や魅力向上に有効な方法である。公園の活性化は、公園のあり方にとって重要な要素であるため先進事例などを調査・研究していく。



松本栄一 議員  
(創政会)

**問** 小学校の英語教科化に  
向けて

現在、小学校の英語の授業は外国語活動であり、英語の教員免許を持つ先生が少ないなか、来年度より英語は教科となるが、現在の授業内容は。来年度より、教科としての英語および通知表の評価に、英語の教員免許を持つ先生が必要と思うが、配置の予定は。

**答** 授業の改善と教員の  
指導力向上を図る

中学年は外国語に慣れ親しむため「聞く・話す」を中心に、高学年からは「読む・書く」を加え学習を進めている。今後は授業の充実と適切な評価を行うため、専科指導教員の配置に努めるとともに研修を充実させ、授業の改善と教員の指導力向上を図っていく。

**問** 通学路の安全確保を

市内の小中学校の通学路には、交通量の多い交差点・柵のない用水路の際・劣化したブロック塀などの危険箇所があるが、点検と対応の状況は。また、市道および県道の横断歩道際にガードレールがなく、危険な交差点が多数あるが、今後の安全対策は。

**答** 児童生徒の安全確保の  
向上に努める

市内の小中学校では、毎年度1学期に通学路の安全点検を実施しており、点検結果を関係各課で共有のうえ修繕などを実施し、通学路の安全確保に努めている。また、歩行者の多い危険な交差点などには、ガードレールなどの交通安全施設の設置を検討していく。



通学路になっている交差点